

だんじり祭り

城崎温泉最大の祭りの1つであるこの祝祭は、200年前にまで遡り、毎年10月14日と15日に開催されます。城崎だんじり祭りは、四所神社の主要なお祭りで、この地域の人々の情熱が披露される賑やかな祭りです。「神輿が競り合う祭り」とも言われるこの祭りには、神輿（持ち運び可能な神社）とだんじり（大型の木造車）が街中をパレードし、模擬戦で対決する壮大なパフォーマンスがあります。神輿とだんじりは、町の出身地域に基づいてチームを組んだ男性集団によって担がれ、城崎温泉を貫く主流の川沿いを走って行きます（この地域は上部、中部、下部に分類されます）。

主なパフォーマンスは、祭りの2日目に行われ、この町の大通りの1つを下った所に位置する四所神社へと参加者が向かう様子を見ることができます。当日は、四所神社の神輿が祈願のために、守り役の台（町の上部のだんじり）と一緒に、城崎温泉中の7つの外湯に一つ一つ立ち寄ります。対決は、神輿が大だんじり（町の中中部および下部のだんじり）に突っ込んで始まり、この大だんじりは神輿と台が四所神社へと進むのを阻みます。対決のクライマックスは、一の湯の橋で行われ、ここではだんじりがお互いにぶつかり合います。これはセリとして知られています。この騒々しい対決では大きな音の太鼓と鐘が共に演奏され、闘いの間、上向きのエネルギーを維持します。だんじり祭りは秋の季節の目玉で、この伝統は世代から世代へと地元の人々によって受け継がれてきました。祭りの期間中この地域を訪れるのは、城崎温泉の神髄を理解するには最高です。